

れんごう

2011. 5. 18

第 5 号 通算 166 号

日本労働組合総連合会新潟県連合会

県央地域協議会
(連合県央地協)

〒955-0044 三条市田島2丁目22-36

TEL 0256-32-6363 Fax0256-32-6490

県央エリアの三地区メーデーは、東日本大震災の影響なども考慮し、デモ行進を見送り、式典の冒頭での「黙とう」や会場内で被災者支援募金を行うなど、工夫を凝らした開催となりました。

<三条地区メーデー>

三条市厚生福祉会館を会場に856人の参加で開催されました。牧野実行委員長は挨拶で、「私たちはこれまでメーデーで「働く者の権利を守ろう」「戦争や紛争のない真の世界な平和をつくらう」を訴えてきました。第82回メーデーのテーマは【希望・安心】です。このテーマを今一度それぞれが自分に問いかけてみましょう。私たちがメーデーを通して訴えてきた【働く（はたらく）】は「働き甲斐のある 人間らしい仕事」です。働く事の意味、働ける喜び、それぞれが自信と誇りを持って働くことを通して、生活を支え、地域を支えていきましょう！」と呼び掛けました。



<主催者あいさつ 牧野議長>

国定勇人三条市長は冒頭、連合のこれまでの労働行政等への連携に御礼を述べた後、震災に触れ、「私たちの出来る被災者、被災地支援は、ものづくりの地域の底力を発揮していくことも重要。息の長い支援策を継続していくことが何よりも大切。三条から元気を発信していきましょう」と挨拶しました。その後、社民党三条支部協議会有坂代表、民主党菊田代議士、労働金庫、総合生協から祝辞を受けました。メーデー宣言の中で、東日本大震災支援と労働者の団結を確認し、団結ガンバローで締めくくりました。

<加茂地区メーデー>

加茂市民体育館に230名が集まり開催しました。石本実行委員長は「大震災などを考慮しデモ行進は中止としたが、メーデーの意義はなんら変わらない。こんな時だからこそ、「働くこと、働くける喜びを見つめ直そう」「被災者、被災地支援は出来る事からどんどん始めていこう！」と挨拶しました。その後、小池加茂市長、菊田代議士などから祝辞を受けました。

後半では、反核・反戦をテーマとした堀 絢子さんのひとり芝居「朝ちゃん」を観劇しました。広島原爆で自らも父を亡くした堀さんが、作家・山本さんの「広島母たち」「広島姉妹」の原作をもとに熱演。身体を張った、巧みな声使いや演技力に圧倒され、原爆の悲惨さや反戦の想いを新たにしました。



<ひとり芝居「朝ちゃん」>

第82回メーデー 5月1日(日) 県央三地区で開催

<西蒲・燕地区メーデー>

吉田産業会館を会場に開催し、例年同様の400名が参加しました。海津実行委員長は「東日本大震災は、死者、行方不明者が30,000人を超えようとするなど大変な被害状況となっている。メーデーを通して“働く事の意味を今一度考えてみよう！被災者支援に向けてできることから始めよう！”と訴えました。

鈴木燕市長は祝辞で、「助け合おう日本を合言葉に、燕市ではどういった被災者支援が出来るかを考え実行している。地場産業への影響を最小限に抑え、新たな需要にも対応していく」と述べました。続いて、鷲尾代議士は「政権与党として、大震災の復旧、復興を最優先に、国民が安心して暮らせるために全力をあげていく」と述べました。その後も関係団体の代表から挨拶を受け、メーデー宣言を確認し、団結ガンバローで締めくくりました。



<集まった400名の参加者>

東日本大震災被災者支援募金

被災者支援の募金として、各自治体の窓口を通してお渡しをします。

- ・西蒲・燕地区メーデー 61,638円
- ・三条地区メーデー 80,966円
- ・加茂地区メーデー 43,318円



アジア・アフリカ救援米「田植え」を実施

5月14日(土)、強風でしたが晴天に恵まれ、子供さんを含め115名の参加者で田植えを行いました。田んぼに足を取られながら植える子供たちの歓声の中、1時間ほどで田んぼ1枚の田植えを終えました。上林公民館に移動し、北陸農政局の方からのお米に関するクイズやビンゴゲームを楽しみました。世界では、まだ食糧不足があることをみんなで考えながら、一緒についたお餅と具だくさんの豚汁でお腹をいっぱいにした一日でした。

《 今後の予定 》

- スポーツ交流会 6月10日(金) 18:00受付 ポップボウル県央
- 女性組合員研修会 6月24日(金) 決定次第案内送付
- 第22回地協委員会 7月9日(土) 13:30~ リサーチコア7F
連携国会議員による政策研修会などを予定しています。



県央ライフサポートセンター開所のお知らせ

《 県央ライフサポートセンター 》 TEL/0256-36-5757

これまで準備をして来ました「県央ライフサポートセンター」の設立総会&開所式を4月27日(水)10:00~三条市勤労福祉会館2Fで開催しました。

県央ライフサポートセンターは、三条市勤労福祉会館の連合県央地協の事務所の1部屋を改装し開所しました。コーディネーターとして藤木 清さんを配置しました。ぜひ友人、知人のみなさんにもご紹介をお願いします。

総会では活動計画・規約・予算案などを審議し、県央ライフサポートセンター理事長として牧野理事長以下、労金・生協・連合からそれぞれ役員を選出しました。

続いて開所式では、来賓として、新潟県ライフサポートセンター江花理事長や、燕、三条、加茂の各自治体代表、労働機関、弁護士などから祝辞を受けました。

ライフサポートセンターは全国で立ちあがっており、新潟県内は県央を含め12ヶ所が開所しています。連合で行っている労働に関する相談は、これからも継続されますが、ライフサポートセンターでは、労働関係はもとより生活全般の相談事業(多重債務や、ローン、介護やその他心配ごと)などすそ野を広げた対応をしていきます。



< 設立総会で牧野理事長あいさつ >



< 藤木コーディネーターと相談室 >

県央ライフサポートセンターの当面の活動予定

1. 周知のためのチラシ配布

〈チラシ配布〉 県央ライフサポートセンターを利用していただくための周知チラシを配布。

①エリア内の行政窓口、社会福祉協議会、労働関係機関、その他各窓口チラシの設置をお願いします。

②連合構成産別から協力してもらってエリア内にローラー配布を実施する

2. 県央エリアの各自治体行政との連携をはかる。

自治体の「総合相談窓口」などとの連携をはかる。

3. 労働関係機関との連携をはかる。

労働基準監督署、ハローワークとの連携により、労働相談解決の充実や就労支援にも取り組める体制をつくる。

4. 相談業務のネットワークを進める。

弁護士、社労士、司法書士他とのネットワークづくり。連合構成員からのスキル登録。

5. 勤労者及び生活者のための必要な情報の発信など

①出前講座(解り易い内容)など実施する

(例)講師に弁護士、司法書士、社労士などを予定し、多重債務、年金制度、労基法などの実例を用いて解り易い講座を実施する。

4月27日
オープン

県央ライフサポートセンター って、なあ〜に?

労働相談・生活相談
解決の糸口が見つかります!!

セクハラじゃない?
教育ローンって私も利用できるの?

多重債務で家庭が壊れそう

もうすぐ定年!年金問題がさっぱりわからない

解雇!絶対認めないから

突然配転!どうしたもんか?

定年後は地域に貢献、ボランティアでも...

実は夫の暴力が怖いよ...

それって!パワハラと違う?

安心できる暮らしを!

相続税が心配で心配で夜も眠れないのよ...

介護疲れで気になりそう

交通事故で家中がパニックに!助けてー

就職が決らないのどうして?...

県央ライフサポートセンター

〒955-0044 三条市田島 2-22-36
三条勤労福祉会館内(連合県央地域協議会)
Tel 0256-(36)5757 fax 0256-(36)5758